

病院事業会計

単位：千円（税込）

当初予算額および説明【全体】

1 基本方針

県民が望む質の高い医療を持続的・安定的に提供していくため、病院事業を取り巻く環境の変化に対応しながら、引き続き「医療機能の充実」と「経営の健全化」に取り組む。

令和8年度は、小児新棟の整備をはじめ病院統合を活かした医療の充実・強化を図るとともに、喫緊の課題である経営改善に向けて取組を推進する。

2 収益的収支額

	前年度予算額	当 年 度 予 算 額			
		全 体	総 合 病 院	精神医療センター	経営管理課
事業収益 A	28,642,900	30,447,900	27,909,000	2,431,400	107,500
医業収益	24,071,557	24,968,651	23,486,473	1,377,430	104,748
うち入院収益	16,075,891	16,248,155	15,200,456	1,047,699	-
うち外来収益	6,768,398	7,483,267	7,273,243	210,024	-
医業外収益	4,346,643	5,224,449	4,167,727	1,053,970	2,752
附帯事業収益	224,700	254,800	254,800	-	-
うち一般会計繰入金	4,925,863	5,696,757	4,566,524	1,025,485	104,748
事業費用 B	29,546,100	31,209,400	28,708,200	2,393,700	107,500
医業費用	28,514,449	30,096,224	27,622,170	2,366,554	107,500
うち給与費	13,284,774	14,196,730	12,515,720	1,586,964	94,046
材料費	7,314,503	8,047,860	7,970,083	77,777	-
経費	5,453,434	5,393,262	4,924,799	455,653	12,810
減価償却費等	2,225,434	2,223,604	2,006,892	216,712	-
医業外費用	806,951	858,376	831,230	27,146	-
附帯事業費用	224,700	254,800	254,800	-	-
差引収支 A-B	△ 903,200	△ 761,500	△ 799,200	37,700	-

(注) 経営管理課から各病院に配賦している本部経費(本部費配賦額(医業収支のうち111,460千円および附帯事業収支のうち1,940千円))については、各病院においては費用に、経営管理課においては収益となるが、同一会計内の資金移動となり、病院事業会計全体としては収益および費用とはならないため、重複分については経営管理課から控除している。

当初予算額および説明【全体】

3 資本的収支額

	前年度予算額	当年度予算額		
		全体	総合病院	精神医療センター
資本的収入 A	1,655,800	1,256,900	1,221,200	35,700
企業債	1,617,100	1,175,600	1,146,400	29,200
補助金	-	14,168	14,168	-
負担金	38,700	67,132	60,632	6,500
資本的支出 B	4,523,400	4,148,500	3,980,200	168,300
建設改良費	1,693,293	1,320,073	1,277,603	42,470
企業債償還金	2,830,107	2,828,427	2,702,597	125,830
差引収支 A-B (損益勘定留保資金等で補填)	△ 2,867,600	△ 2,891,600	△ 2,759,000	△ 132,600

4 資金残高見込み

	令和7年度	令和8年度
年度末資金残高見込み	923,112	-

令和8年度は病院事業債492,600千円の借入後の残高。

5 経営の健全化に係る取組事項

(1) 収益の拡大

- 患者の受け入れ拡大
 - ・ 病病連携・病診連携による機能分担の推進、紹介率・逆紹介率の向上
 - ・ 周辺医療機関との連携による救急受け入れの拡大
 - ・ 時間外における救急患者の入院受け入れを促進
 - ・ 県内病院とのICTによる画像診断に関する連携を検討
- 医療機能の充実に伴う収益の拡大
 - ・ 医師確保に係る取組(専攻医の受け入れ等)の推進
 - ・ 集中治療機能の向上(ICU(集中治療室)・HCU(高度治療室)の整備)と効果的な活用による収益改善
 - ・ 手術室の増設や効率的な運用による手術件数の増加
 - ・ 時間外・休日における緊急手術の対応を促進
- 診療報酬制度への対応強化
 - ・ 求められる医療の質に対応した体制の充実による診療単価の向上
(新たな施設基準や加算の届出、DPC制度における機能評価係数I・IIの改善)
 - ・ 診療報酬の請求漏れや査定レセプトの防止対策
- 情報発信の強化

(2) 経費の縮減

- 材料費や委託費等の削減
 - ・ ベンチマークを活用した価格交渉による材料費の削減
 - ・ 共同購入事業への参加
 - ・ 仕様見直しによる委託費の削減
- 部門別原価管理の実施
- 職種間のタスクシフトの推進やDXを活用した業務効率化による時間外勤務の縮減

当初予算額および説明【総合病院】

1 重点的取組事項

- (1) がん診療の充実と県内がん診療への貢献
都道府県がん診療連携拠点病院として、がん検診や高度医療機器を用いた専門的検査から、外科的手術や化学療法、放射線治療などの専門的治療、患者や家族などの相談業務まで、がん医療を包括的に推進するとともに、滋賀県がん診療連携協議会を通じ、県内がん診療の集約化と均てん化に向けて中心的な役割を担う。
- (2) 高度急性期・専門的医療の提供
高度な手術やカテーテル治療の実施、検査やリハビリ目的での短期入院の導入など、求められる医療分野における取組を進める。
また、専門医や指導医の受け入れに努めるほか、看護師の特定行為研修を行う指定研修機関を目指すなど、医療技術を支える優れたスタッフの確保・育成に努め、質の高い医療を提供する。
- (3) 小児の難治・慢性疾患への専門的医療の充実
障害児医療を含む難治・慢性疾患に係る医療など専門分野の医療について、病院統合効果を発揮して引き続き成年後も切れ目なく対応するとともに、小児泌尿器センターの開設と常勤医師の配置、診療枠の拡大や医療型短期入所（レスパイト）の実施などの機能強化を図る。
- (4) 小児保健サービスの拠点機能、心身障害児に対する療育機能の充実
母子保健の中核的支援拠点として、乳幼児健診後の精密健診事業等を通じて、早期の治療や訓練など適切な処置を受けることができるよう、療育発達相談事業への専門職員の派遣や母子保健従事者研修などの小児保健サービスを提供する。
また、医療型児童発達支援センターとして、各種専門性を活かした総合的療育とリハビリテーションを行うとともに、地域療育教室への職員派遣や療育研修会の開催など、保健、医療、福祉が一体となったサービス提供を行っていく。
- (5) 地域医療への貢献
救急患者の受け入れ機能を充実させるほか、丁寧な紹介・逆紹介を徹底するとともに近隣の医療機関との円滑な患者搬送にも努める。地域医療支援病院、災害拠点病院として求められる医療を提供するなど、近隣の医療機関や施設、在宅医療との関係性を深めることで、地域における医療連携をさらに強化し、患者数の増加にもつなげる。
- (6) 小児病棟の移転および小児新棟整備の着実な推進
病棟の移転に係る改修工事を発注するとともに、小児新棟の整備に係る設計に着手するなど、早期の供用に向けた取組を進める。

2 業務量等

(1) 病院部門

病 床 数	588床	平均在院日数	10.1 日	
年 間 患 者 数	入 院	174,470人	新入院患者数	15,680 人
	外 来	291,128人	紹介患者数	18,070 人 (紹介率 93.0%)
1 日 平 均 患 者 数	入 院	478人	逆紹介患者数	18,460 人 (逆紹介率95.0%)
	外 来	1,208人		

(2) その他の部門

- ・小児保健指導室 精密健診受診児数 1,678 人
- ・療育センター(附帯事業) 通園児童延数 696 人

3 収益的収支額

	前年度予算額	当 年 度 予 算 額			
		全 体	病 院	小児保健指導室	療育センター
事業収益 A	26,322,100	27,909,000	27,562,365	91,835	254,800
医療収益	22,534,655	23,486,473	23,395,138	91,335	-
うち入院収益	15,017,532	15,200,456	15,200,456	-	-
うち外来収益	6,519,527	7,273,243	7,273,243	-	-

当初予算額および説明【総合病院】

	前年度予算額	当年度予算額			
		全体	病院	小児保健指導室	療育センター
医業外収益	3,562,745	4,167,727	4,167,227	500	-
附帯事業収益	224,700	254,800	-	-	254,800
うち一般会計繰入金	4,049,967	4,566,524	4,298,027	91,335	177,162
事業費用 B	27,121,200	28,708,200	28,361,565	91,835	254,800
医業費用	26,115,476	27,622,170	27,530,335	91,835	-
うち給与費	11,680,462	12,515,720	12,461,760	53,960	-
材料費	7,199,652	7,970,083	7,970,083	-	-
経費	5,003,520	4,924,799	4,887,669	37,130	-
減価償却費等	2,026,494	2,006,892	2,006,892	-	-
医業外費用	781,024	831,230	831,230	-	-
附帯事業費用	224,700	254,800	-	-	254,800
差引収支 A-B	△ 799,100	△ 799,200	△ 799,200	-	-

4 資本的収支額

(1) 小児新棟の整備事業等

○小児新棟の整備にかかる設計（99,419千円）

○病院統合に伴う施設改修（919,925千円）

・ICU(集中治療室)・HCU(高度治療室)の改修
 ・小児患者の受け入れに向けた手術室の増設 等

(2) 医療機器の整備（245,710千円）

・ガンマカメラ、手術支援ナビゲーションシステム、AI医療文書作成支援システム 等

	前年度予算額	当年度予算額			
		全体	病院	小児保健指導室	療育センター
資本的収入 A	1,325,400	1,221,200	1,220,359	-	841
企業債	1,293,400	1,146,400	1,146,400	-	-
補助金	-	14,168	14,168	-	-
負担金	32,000	60,632	59,791	-	841
資本的支出 B	4,088,800	3,980,200	3,979,359	-	841
建設改良費	1,356,033	1,277,603	1,276,762	-	841
企業債償還金	2,732,767	2,702,597	2,702,597	-	-
差引収支 A-B	△ 2,763,400	△ 2,759,000	△ 2,759,000	-	-

当初予算額および説明【精神医療センター】

1 重点的取組事項

(1) 医師の確保による安定的な診療体制

滋賀医科大学精神医学講座との連携強化に努めるとともに、「精神科専門医研修施設群基幹施設」等として認定医、専攻医を受け入れることなどにより若手医師の育成と定着を図り、精神保健指定医の資格を有する医師の確保につなげていく。

また、身体合併症への対応や精神科専門研修プログラムにおける連携施設としての専攻医の受け入れなどを通じて、総合病院との連携を強化し診療体制の充実を図っていく。

(2) 専門医療の提供

アルコール依存症等中毒性精神障害やギャンブル依存症などへの専門医療の充実、向上を図るとともに、精神科救急医療システムにおける救急患者など民間では受入困難な患者の積極的な受け入れに努めるほか、行政や関係機関等との連携強化を図り、県下における精神医療の中核施設としての役割を果たす。

(3) 医療観察法病棟の運営

医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、適切な医療の提供と社会復帰に向けた支援を行う。

(4) 地域移行支援の推進

長期入院患者の退院促進等に向けた院内カンファレンスの充実や福祉施設等関係機関との連携強化を図るとともに、訪問看護等を積極的に推進し、患者の地域移行を促す。

(5) 病棟の機能、病床数等の最適化の検討

求められる医療ニーズに適切に対応していくため、疾患動向を踏まえた病棟の機能、病床数等の最適化に向けた検討を行う。特に思春期精神障害については、病床再編を行い、入院患者の療養環境の整備を進めていく中で福祉機関等との連携を高めるとともに、専門外来の新規枠を広げることにより予約待ちの短縮を図る。

2 業務量等

		全 体	病 院	デイケア
病 床 数		123床	123床	-
年 間 患 者 数	入 院	35,040人	35,040人	-
	外 来	28,250人	26,028人	2,222人
1 日 平 均 患 者 数	入 院	96人	96人	-
	外 来	117人	108人	9人

平均在院日数 84 日
 新入院患者数 412 人
 紹介患者数 400 人

3 収益的収支額

	前年度予算額	当 年 度 予 算 額		
		全 体	病 院	デイケア
事業収益 A	2,210,200	2,431,400	2,349,400	82,000
医業収益	1,429,114	1,377,430	1,295,430	82,000
うち入院収益	1,058,359	1,047,699	1,047,699	-
うち外来収益	248,871	210,024	197,344	12,680
医業外収益	781,086	1,053,970	1,053,970	-
うち一般会計繰入金	768,108	1,025,485	956,165	69,320

当初予算額および説明【精神医療センター】

	前年度予算額	当年度予算額		
		全 体	病 院	デイケア
事業費用 B	2,314,300	2,393,700	2,311,700	82,000
医業費用	2,288,373	2,366,554	2,284,554	82,000
うち給与	1,507,805	1,586,964	1,528,723	58,241
材料費	114,851	77,777	77,730	47
経費	436,449	455,653	433,305	22,348
減価償却費等	198,940	216,712	216,712	-
医業外費用	25,927	27,146	27,146	-
差引収支 A-B	△ 104,100	37,700	37,700	-

4 資本的収支額

- (1) 医療機器の整備 (39,805千円)
 ・臨床検査システム 等

	前年度予算額	当年度予算額		
		全 体	病 院	デイケア
資本的収入 A	330,400	35,700	35,700	-
企業債	323,700	29,200	29,200	-
負担金	6,700	6,500	6,500	-
資本的支出 B	434,600	168,300	168,300	-
建設改良費	337,260	42,470	42,470	-
企業債償還金	97,340	125,830	125,830	-
差引収支 A-B	△ 104,200	△ 132,600	△ 132,600	-